

いろいろ火の里 
みかわ

ぞかい



「おもちが楽しみ」

ワクチン接種7千5百万円
負担金の再精査を
迅速なコロナ対策を
笑顔でお手伝い

9月定例会 P2~4
令和2年度決算審査 P5~7
一般質問 P8~15
シリーズ^④
「がんばってます」 P16

No.155
9月議会
2021.
10.15

種総額7,500万円

9月 定例会

第4回議会定例会は、9月3日から9日までの会期で開かれました。専決処分3件、令和3年度一般会計・各特別会計補正予算5件と令和2年度各会計決算認定6件、条例改正2件、人事案件2件を原案通り可決しました。

また請願2件、意見書3件が提出、採択されました。

なお、一般質問は夜間議会で7人の議員が町政全般について質問しました。

一般会計補正予算 (専決処分)

1868万4千円追加し、53億5397万2千円となりました。

問 新型コロナウイルスワクチン接種事業は令和2年度より実施しているが総額は。

健康福祉課長 総事業費は7500万円の見込みです。

問 ワクチン接種に携わった労務は賃金とすべきでは。

健康福祉課長 項目には、賃金はないので謝礼としました。

一般会計補正予算

1億9862万9千円を追加し、55億5260万1千円となりました。

問 重粒子線がん治療患者支援の内容は。

健康福祉課長 山形大学に設置されている重粒子線がん治療機による保険診療以外の場合は304万円かかりますので、2割の補助金62万8千円としました。

問 農村環境改善センターの工事内容は。

農村環境改善センター所長 今回は事務室の空調設備改修です。

集中冷房設備の老朽化に伴い、今後は、個別型にしていく考えです。

問 冬季スクールバス運行委託料は。

教育課長 冬季は、指定地域の1・2年生をバス通学していますが、町所有3台では対応できないので不足分を民間委託

するものです。

問 保育園・幼稚園の修繕費は。

子育て支援主幹 施設のボイラー修繕と冷房の室外機の落下防止工事です。



空調設備が改修される農村センター事務室

国民健康保険 特別会計補正予算

歳入歳出に2428万1千円を追加し、6億9168万1千円となりました。

農業集落排水事業 特別会計補正予算

歳入歳出700万円を追加し、1億7390万となりました。

介護保険 特別会計補正予算

歳入歳出1723万6千円を追加し、8億8163万6千円となりました。

下水道事業 特別会計補正予算

歳入歳出385万円を追加し、3億8255万円となりました。

新型コロナワクチン 接

条例改正

- 三川町医療給付条例の一部を改正する条例の制定（専決処分）
- 三川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例の設定（専決処分）
- 三川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について



人事案件

- 三川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 教育長 任命
 鈴木 孝純（横山上）
 監査委員 選任
 和田 勉（横山上）

9月定例会の議決状況

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらない。

議 案	議 席 番 号								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
議 員 名	小野寺正樹	志田徳久	小林茂吉	佐久間千佳	砂田 茂	鈴木淳士	鈴木重行	成田光雄	町野昌弘
請願第3号 米の需給調整に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を採取しないよう求める請願	×	○	○	×	○	○	○	○	×
議題43号 三川町医療給付条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議題44号 三川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第45号 令和3年度三川町一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第46号 令和3年度三川町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号 令和3年度三川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号 令和3年度三川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号 令和3年度三川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号 令和3年度三川町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号 令和2年度三川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号 令和2年度三川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号 令和2年度三川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号 令和2年度三川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号 令和2年度三川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号 令和2年度三川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号 三川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号 三川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

私達の声を国会へ 意見書提出



民意を行政に反映するため「請願」を受理し、所管する常任委員会では審査しますが、「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を採取しないよう求める請願」については、総務文教と産業建設厚生両常任委員会による連合審査会で審査しました。

米の需給調整に関する意見書（採択）

コロナ禍による需要減などにより、主食用米の民間在庫は、業務用米を中心に大幅に増加している。昨年の2年産米がこの秋以降に持ち越されれば、3年産米の米価下落と4年産米への作付け転換にも上乗せされるなど、稲作を根幹とする山形県農業への甚大な影響が懸念されることから、政府備蓄米の運用改善などあらゆる政策を総動員した需給調整を強く要望する。

賛成討論

小野寺 正樹 議員

東北農政局による今年の作況概況は「やや良」ですが、概算金については2500円の下げ幅との報道もあります。

米価下落の要因は、もともとの消費低迷に輪をかけて新型コロナ感染予防対策に伴う外食産業の消費減少など民間在庫の大幅増により、米市場に大きな混乱を招いています。三川町の水田農業維持と地域経済を守るために米の需給調整は是非とも必要です。



沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を採取しないよう求める意見書（採択）

沖縄県糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は「沖縄戦跡国定公園」に指定され、戦後76年が経過した今も遺骨収集が行われています。犠牲者の遺骨が残され、血肉が染みているこの地域の土砂を採取することは、戦没者の尊厳を冒す行為であり、平成28年に超党派の議員立法により全会一致で成立した「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」にも反することから、適切に対応することを強く要望します。

賛成討論

砂田 茂 議員

沖縄本島南部は、軍人・兵士以外にも一般住民を巻き込んだ激しい戦闘が行われた場所であり、その遺骨の多くが未だに収集されずに眠っています。その土砂を採掘するなど人道にあってはならないことで、戦没者への冒瀆でありご遺族に対して説明のつくことではありません。

反対討論

町野 昌弘 議員

戦没者の遺骨収集は、その思いを後世に残すためにも、また、ご遺族のためにも早く収集して故郷で安らかに眠っていただきたいと願っています。その為に「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」を強く推し進める請願と併せて、国の認可を必要とする砂利採取法の制度改正を求める請願であるべきで、これを国に提出することは本町議会の見識が疑われます。

コロナ禍による 厳しい財政状況 に対処し地方税 財源の充実を求 める意見書 （採択）

新型コロナウイルスの感性拡大により地方財政も巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しているため、国は令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、社会保障関係費財源を確保すること、固定資産税に係る特例措置等は今回限りとするなど、確実に実現されるよう強く要望する。



負担金の再精査を



鈴木 重行 委員長

令和2年度 各会計決算概要

	歳入	歳出	差引	
一般会計	77億4875万円	75億0441万円	2億4433万円	
特別会計	国民健康保険	6億9749万円	6億6363万円	3386万円
	後期高齢者医療	8993万円	8723万円	269万円
	介護保険	8億2348万円	8億0799万円	1548万円
	農業集落排水事業	1億6850万円	1億6850万円	0万円
	下水道事業	3億4620万円	3億4614万円	6万円

●町債残高 59億5347万円（一般会計分）
 ●基金残高 12億9566万円（一般会計分）
 令和3年3月末現在

9月7日・8日の2日間にわたり、決算審査特別委員会を開会しました。委員会は議長を除く9人で構成し、委員長に鈴木重行委員、副委員長に佐久間千佳委員を選出し審査を行い、承認しました。

無駄な支出はないか

小林 茂吉 委員

問 目的を同じくする団体への負担金は不合理と考える。納付団体を精査すべきではないか。

町長 法令外負担金が多くある事は承知しています。下水道事業の普及度合いから組織のあり方と選択も必要と考えます。

問 スマート農業導入支援事業は、導入時だけでなく、効果を経営的に見極め、予算確保に工夫が必要では。

産業振興課長 農業者からの要望調査に基づいて予算確保したが辞退もあり不用額が生じました。今後は事業内容を精査し取り組みます。



ふれあい館

「なの花荘」ふれあい館」を完全譲渡

鈴木 淳士 委員

問 ふれあい館大規模改修負担金と、同施設維持運営負担金の内容と今後の見通しは。

健康福祉課長 これまで町の施設として一般の方々に出していた「ふれあい館」をなの花荘に譲渡する条件として、最後の大規模改修工事費の2分の1を負担したものです。これにより、今後は毎年支払っていた維持運営負担金（20万円）が不要となります。

タブレット端末使用の対策は

視力低下が
懸念される

砂田 茂委員

問

小中学校健康診断
結果で視力低下が
懸念される。タブレット
等電子機器使用時の対策
は。

教育課長 ゲーム機やスマホ
の使用時間など学
校と保護者間で取り決め
ています。タブレット端

末を使った授業では、太
陽光や照明などの映り込
みを少なくする環境を整
えていきます。

問

横山団地内の公園
のブランコが使用
できない状態となってい
るが今後の予定は。

建設課長 腐食が進んでおり
危険と判断して使
用を中止しています。今
後のブランコのあり方ど
のようなことが出来るか
内容を考えています。



パソコンを使った授業風景

たばこ税が
減収しているが

志田 徳久委員

問

町内での「たばこ」
購入箇所が減少し
コンビニでの購入が増え
ているが「町たばこ税」
に含まれているか。

総務課長 コンビニの売り上
げは、所在地の町
に入ります。

問

三川町農村改善セ
ンター貸付料は月
額契約か。



使用できないままの
町営住宅横山団地内のブランコ

**農村環境改善
センター所長** 公民館の事
務室を「シ
ルバー人材センター」に
1日1275円、光熱費
850円で貸付けていま
す。

問

ハチの巣駆除作業
の回数と住民より
駆除の相談があった場合
の対応は。

建設課長 町営住宅の1箇所
で、住民よりの相
談には、電話帳に載って
いる近隣の業者に本人よ
り連絡してもらっていま
す。

高齢者福祉の
充実を

町野 昌弘委員

問

老人クラブ加入状
況が年々低くなっ
ているが、参加していな
い人からも意見を聞き今
後の在り方を検討して
は。

健康福祉課長 老人クラブをやめ
られた方の意見も
参考にしながら今後の新
たな老人クラブ連合会の
形を模索していきたいと
考えています。

問

防災備品の緊急時
用浄水装置の能力
は。

総務課長 処理能力は1時間
当たり4千ℓで、
活性炭と中空糸膜フィル
ターを活用した浄水と、
滅菌剤を使い水質を確保
する装置です。水源とし
ては学校のプールを想定
しています。

防災への備えを万全に

水害に備えて
ボートを

小野寺 正樹 委員

問

三川町では、毎年大雨増水災害のリスクが高まるが、救助の際のボートなどの備品購入計画は。

総務課長 備蓄品に関しては毎年補充しているところであります。必要不可欠の物に関しては、

順番を決め購入してまいります。

問

アメリシ口防除に多額の負担が増える年の対策は。

建設環境課長

各町内会の要請に応じて2回の薬代は町で負担しますが、それ以降は、状況に応じて対応します。

散布の機材は町で準備します。



整備が進む防災備品

今後の
事業に活かす

佐久間 千佳 委員

問

生ごみ減量実証試験事業を終えて実用化に向けての問題点と今後の展開は。

建設環境課長

水切りバケツによる効果を検証した事業ですが、概ね効果があると認識しており、今後、結果を基に住民に広く周知するなど、ソフト



多くの利用が望まれるかまどパルク赤川（赤川河川緑地ふれあい広場 青山地区付近）

事業での展開を考えています。

問

中学校通学バス支援事業の生徒一人当たりの補助率と、今後の補助の考え方は。

教育課長

全体経費1221万円の内、82.9%を町が補助しています。今後、補助率が90%を超えるようであれば見直しせざるを得ないと考えています。

問

かわまちづくり整備事業の進捗状況と、より親しみやすくするためにかまど利用の緩和をすべきでは。

建設環境課長

事業の進捗状況と末で70%の執行状況です。

かまど利用にあたり、自由に使用することは施設の維持管理に支障をきたす可能性があり、現状での使用を考えています。

町政を問う

9月定例会

一般質問



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

一般質問 とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

9月3日に、7人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

佐久間 千佳 議員 (9ページ)

- 新型コロナウイルス感染症対策は

砂田 茂 議員 (11ページ)

- 成人式クラスターの検証を
- 子育て世代の負担軽減は

志田 徳久 議員 (13ページ)

- 教育環境は
- 住民の安全・安心は

鈴木 淳士 議員 (15ページ)

- コロナ禍における町当局としての対応は
- 寄附受け入れを決定した空き家の今後は

小野寺 正樹 議員 (10ページ)

- ブルーインパルス遠渡隊長を三川名誉町民、又は親善大使に推薦は
- 緊急的なコロナ感染等に伴う、情報伝達のあり方は

鈴木 重行 議員 (12ページ)

- 人材育成、担い手確保の取り組みは
- 地域通貨「菜のCa」の事業効果は

町野 昌弘 議員 (14ページ)

- ごみの減量化は
- 通学バス運行と安全対策は
- 新型コロナ終息後の商工業支援は

(8) 15ページまとめ
砂田 茂・小野寺正樹

独自に迅速なコロナ対策を

町長 保健所の指示に従う



佐久間 千佳 議員

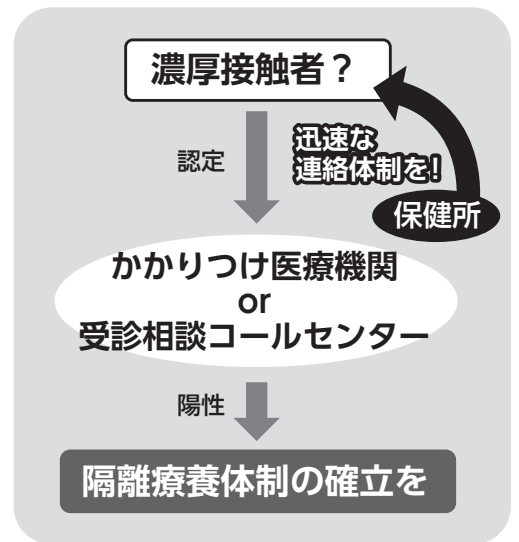
問

濃厚接触者にあたるかどうかの迅速な判別、検査対応が重要です。保健所への協力を含めた対応を伺うとともに、2次感染を防止する上でも、庄内全域の宿泊施設と連携し隔離療養体制を整えるなど、町独自の対策は。

町長

検査対応については、庄内保健所が感染者確認の報告を受けた場合、当該者と早急に連絡をとり、疫学調査を実施しながら、家族や職場等における2次感染を回避すべく対応しています。

8月以降の庄内地域での急激な感染拡大に伴



庄内全域で新たなコロナ対策を

い、庄内保健所の要請を受け、本町からも保健師を派遣するなど保健所への協力を図ってきました。

また、宿泊療養施設については、県が宿泊療養ホテルを開所しています。

問

学びの継続を

感染拡大により休校などの対策を講じていますが、子どもたちの学びの継続について、昨年の休校を踏まえた対応がとられたのか。また、GIGAスクール構想の進展は。

教育長

今回の一時的な臨時休業は短期間だったため、各家庭には電話連絡や連絡メールシステムで体調確認や自宅学習を指示しています。

一方、家族に感染者が出た児童・生徒については、出席停止措置により2週間程度自宅で過ごすことになるため、タブレット端末を使用して自宅と学校を結んだりモーニング学習や健康観察に取り組んでいます。

今後はタブレット使用の実施内容を検証しながら、全校での活用についても検討していきます。

また、GIGAスクール構想におけるタブレット端末の活用については、9月からデジタルドリルを家庭で使用できるよう、端末を自宅に持ち帰る取り組みの実施に向けて学校と調整を図っており、今後の授業改善や効果的な学びの推進に努めていきます。



タブレットでリモート学習も

遠渡隊長を名誉町民に

町長 功績に対する顕彰の手法等を検討



小野寺 正樹 議員

問

ブルーインパルス 遠渡隊長に関して は、皆様の声を聴いてみると「三川町の誇りであり、同じ町民として嬉しく大変に誇るべき人材」と答えてくれました。コロナ禍のなか、自粛ムード一色で疲れ切った町民に明るいニュースをお願いしたいし、是非、何らかの形で町民名誉賞または、親善大使的な考え方を持つべきでは。

町長

「三川町名誉町民に関する条例」のほか「三川町表彰規則」の規定による表彰制度を設け、功績があった方の顕彰を行っています。継

続的な関係性の構築に今後とも本町との繋がりを大切にしていきたいと思っています。



テオトル入口の遠渡隊長等身パネル

緊急的な情報伝達のあり方は

問

今回のような感染拡大も災害の一つと考えた場合、町長からのメッセージや今後の対応方針などについて三川町のホームページやライン、ヤフー防災速報アプリなどでも確認できているが、情報の収集が出来ない人への伝達方針は。

町長

町が住民に向けて発信する情報は、行政施策や社会生活に関する情報、さらには生命や財産に関わる情報など多岐に渡ります。

これらの情報については、対象となる方に正確に伝え、行政サービスの提供に繋がっていくことが最も大切であると認識しています。即時性が求められる情報の提供については、主にホームページ



三川町ホームページより

利点を生かした活用を図っています。

また、このようなデジタル媒体によらない、迅速な情報提供手段として、外部メディアへの情報提供による、新聞、テレビ等を通じた情報の周知も行っており、今後も、提供する情報の種類に適切な媒体の特性を踏まえながら、的確な住民への情報提供に努めていきます。

成人式クラスターの検証を

教育長 一層の予防対策に努める

問

成人式に関連したクラスターが発生しました。山形県内でも新型コロナウイルス感染症が感染拡大傾向にあるなかで、成人式開催を判断した経緯と今後の対応は。

教育長

成人式では、延期されていた令和2年度分と令和3年度分を午前と午後に分けて同日開催しました。庄内地域の感染状況によっては中止、または延期も視野に入れながら準備を進めて、緊急事態宣言地域からの参加を控えるよう依頼するとともに、健康チェックシートの提出や検温、消毒、体調確認を



砂田 茂 議員

行い、マスク着用の上、短時間での式典を行いました。実行委員が主催した成人のつどいでは、お茶と茶菓子にとどめて1時間程度で終わるように企画を変更しました。



不織布マスクを

問

本町における「子育て支援医療給付

子育て世代の負担軽減を

感染者が確認されて以降は、庄内保健所と連携し、情報収集と情報共有を図りながら、感染拡大防止に努めたところであります。県が発出した感染拡大防止「特別集中期間」の趣旨に沿い、予防対策に取り組んでいきます。



医療費の無料化拡大を

問

学校給食の無償化にむけての考えは。

教育長

山形県内では寒河江市と鮭川村で無償化を実施しており、他の自治体でも一部助成を

町長

事業」では、中学3年生までの無料化を実施しているが、高校卒業まで拡大する考えは。

庄内地域では18歳まで対象としているのが、1町にとどまっております。近隣市町村の動向を注視しながら検討していきます。

問

学校のトイレに生理用品の常備にむけての考えは。

教育長

必要な児童生徒から申し出があった場合は、保健室に常時保管しているものを使用させていきます。トイレへの常備については、衛生面での課題もあることから、考えていません。

人材育成の取り組みは

町長 意識の醸成と参画する機会増やす



鈴木 重行 議員

問 地域コミュニティの重要性について町の考えは。

町長 地域コミュニティが果たす役割は大きく、地域における福祉や防災、伝統文化の維持・継承、防犯、衛生分野など多岐にわたっています。特に、近年多発する災害や、高齢者世帯、支援が必要な家庭の増加により、地域における人と人との支え合いなど共助の取り組みの重要性は、ますます高まっていると考

問 協働による地域社会の構築には人づくりが重要と考えます

が、人材育成・人材確保の取り組みは。

町長 地域コミュニティの課題の一つに、組織の担い手の高齢化や固定化があり、後継者不足や若い世代の参画がないことが挙げられます。



人材育成・確保のためには、地域活動に対する理解を深めながら、ともに活動する意識の醸成と地域住民の方々と共に、参画する機会を増やすことが求められています。

そのため、様々な活動が効率的、効果的な活動になっているか、地域住民の生活実態を踏まえた参画できる活動になっているか改めて再確認、再構築する必要があると考えています。

町内会総合交付金や協働のまちづくり推進事業による財政的な支援と、

特定の課題について話し合い解決するコミュニティ活動支援員派遣事業などにより、地域コミュニティの多様な活動や人材育成を引き続き支援します。

「菜のCa」の効果は

問 地域通貨「菜のCa」の事業効果は。

町長 7月1日に内容を周知するチラシを



効果が期待される「菜のCa」

全戸に配布し、7月10日から各実施店舗において交付を開始しました。実施店舗からは、来客数や客単価の増加があったとの報告もあり、一定の効果があつたと考えています。

問 今後の計画は。

町長 第2弾として9月中旬、第3弾として11月中旬の発行を予定しており、地域経済の活性化に取り組みます。

今後の保育・幼児教育は

町長 園の特色を生かした保育

問 核家族化や就労形態の多様化による保育・幼児教育の今後の考えは。

町長 未満児保育の需要が高まり、さらに、早朝・延長保育、土曜日保育の利用者も増加しています。

今年4月に認定こども園1か所が開所したことにより、保育園2か所、認定こども園1か所、幼稚園1か所において、各園の保育方針や教育過程に基づく保育・幼児教育が実践されており、多様な保育需要へも対応しています。



志田 徳久 議員

今後、それぞれの園の特色を生かした保育などを通して、多様化する保育需要に対応します。



幼稚園のおやつ風景

問 子育て支援センター等の使用がなくなってきた時の教育への影響は。

町長 子育て支援センターは、主に未就園児の利用する施設であり、子育てで親子の交流、遊び場の提供、子育て相談や絵本の読み聞かせ等を行っているところなので、使用出来なくなった場合は、直接的な教育への影響は少ないと考えています。

学校の休校による対応は

問 学校教育で、休校等による授業時間の影響は。

教育長 各学校における年度の授業時間数は、文部科学省で定める標準授業時間数以上に設定しているので一時的な臨時休校の場合は、年間計画の授業日数の中で調整が可能です。

問 学校の急な休校等への対応と家庭のあり方の考えは。

教育長 各学校で、保護者との緊急連絡メー
ルシステムを構築しており、急な休校となった場合、児童・生徒は自宅で過ごすことになります。
感染症による場合は、感染拡大防止策で学童保育所も閉所にするため、普段、共働き等により家庭でみられない世帯では、各家庭で対応していただいています。



小学生のマスクをしての登校

ごみの減量化は具体的に

町長 処理基本計画を基に研究していく



町野 昌弘 議員

問 一般廃棄物処理委託料の変更に伴い財政負担が大きくなると考えられるが、今後の「ごみ減量化対策」の進め方は。

町長 これまで三川町一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみの減量化対策に取り組んでいます。

今後も家庭から排出される生ごみは、買い過ぎない、作り過ぎないなどの発生抑制と、水切りにより重量を減らす取り組みを図っていきます。

問 令和元年度山形県市町村別一人当たりのごみ排出量で最も多いのが三川町ですがその認識は。

建設課長 三川町では事業系ごみが多く出され、それを人口で割った結果だと思えます。

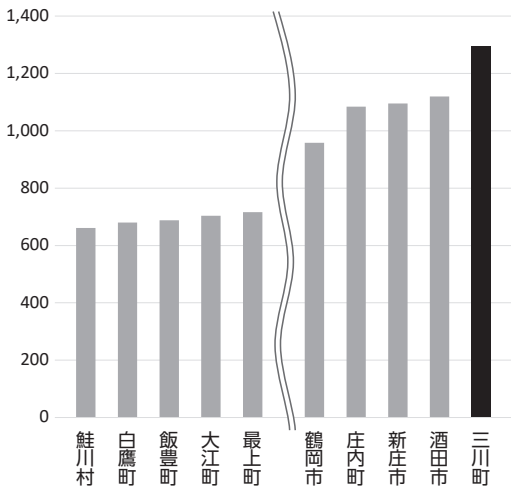
問 三川町の事業系ごみの実態の把握は、事業系ごみの全体的な把握はしていますが、各事業所個別の排

出量まではつかんでいません。

問 この廃棄物処理実施計画では、減量化に向けた具体的方策として、家庭系では「町民への理解と協力を求めていく」、また事業系では「可能な限り再資源化に努める」という政策ですが、だれが何をどうするか具体的にすべきではないかと考えています。家庭では生ごみ等の減量化をお願いします。

は欠かせないと考えています。事業所には経済活動の関係があるので今後研究していきます。

1人1日当たりごみ排出量



児童のバス通学拡大を

問 最近の交通事情や社会情勢の変化に伴い、児童の安全面からバス通学の考えは。

教育課長 児童のたくましい心身を養う観点から徒歩通学を基本としていますが、児童を取り巻く環境変化に合わせてバス運行方針を改定していきます。

問 不安を抱え通年バス通学を願う町民への対応は。

教育課長 冬季間のバス乗車町内会が該当しています。これを通年バス通学にする現在の町所有バスでは足りなく財政事情を鑑みて考えていかなければなりません。保護者要望等が多く寄せられれば今後の検討材料と考えています。



不安を抱え単独下校

県外宿泊客は専用風呂に分離すべき

町長 大浴場には県外の日帰り客も入浴している



鈴木 淳士 議員

問

「成人式」開催により、町長自らが「共同メッセージ」に反する行動を取ったことになったが、「延期」などの危険回避策は検討しなかったのか。

教育課長

県内の感染拡大傾向は認識していましたが、町の重要な事業として庄内地方の感染状況を勘案し、中止または延期という選択肢もありましたが、最終的には実施の判断を下しました。

※共同メッセージとは……「山形県内におけるコロナ感染急拡大対策として「行かない・呼ばない・延期の選択を」などを呼び掛けたメッセージ。8月6日に県知事と市町村長が連名で発出した。

問

同じ危険回避策として「いろり火の里」の県外宿泊客と「田田」の一般入浴客を分離する方策を個人的に提言したが、三川町民等への感染回避策は。



コロナ禍対応を指定管理者に一任

町長

分離利用については指定管理者（みかわ振興公社）の判断によるところであり、日帰り入浴客の中には県外からの利用者もいる現状から、民間事業所として、利用者に対する責任のものと感染予防対策を徹底しているとの考え方を尊重すべきものと判断しています。

補正予算否決により 空き家の寄附受入を中止

問

空家等対策協議会にて空き家の寄附受入の承認決議が成立しているが、提案者であり協議会委員として、この問題に対する所見は。

町長

国の制度や山形県住宅供給公社の事業活用により早期解決が見込めると結論を得たことから、同協議会に寄附受入を提案し承認いただきました。

問

この協議会で承認された寄附受入について、補正予算が否決されたことを理由に取り消したとのことであるが、協議会で審議しての取り消しか。

建設課長

6月議会に提案したことから、この空き家に関する事業が遂行できないものとの判断し、寄附の受入れを行わないことになりました。



空き家対策は予算しだい…

がんばってます

「三川町保健委員協議会」

笑顔でお手伝い



総勢49名の保健委員は、各町内会から推薦いただいた方々を町長が委嘱するということで、1期2年間が活動期間です。一般的なボランティアと異なり、町が主催する健康診断や母子事業など、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い保健事業の場面でお手伝いをお願いしています。

例年ですと、妊産婦向けのパパママ教室などの託児や、幼児歯科健診でのむし歯予防活動（大型紙芝居やエプロンシアター上映）、特定健診での

受付などを行ってきましたが、今年はコロナウイルス感染対策により活動が制限され、例年と異なった活動となっています。

現在は、5月以降開始されたコロナワクチン接種会場での、来場者の検温や誘導、会場内の消毒などにご協力をいただいております。

会長の方々は「今は、町内会の方々と直接かかわって町の保健活動との橋渡しをするのがほとんどできません。その分、みなさんが少しでも安心してスムーズにワクチン接種ができるように、自分たちができることを笑顔でお手伝いしていきたいと思っています。」と話していました。

保健委員のみなさんには地域と行政のパイプ役として、保健師と協力しながら、地域の健康づくりを支えていただいております。

三川町保健委員協議会
事務局 佐藤 千絵



(16ページまとめ 小野寺 正樹)



【表紙の写真】

「横山小学校稲刈り」
(写真) 小野寺 正樹

編集室

昨年1月15日に国内で初めて新型コロナウイルスへの感染が確認されたから1年10カ月が経ち、その影響は多方面に広がっています。

9月の定例会においても多くの議員から新型コロナウイルス対策に関する様々な課題が提示され、より良い町政となるよう議論が交わされました。

本誌ではその一部を掲載していますが、多くの方にお読みいただければ幸いです。

コロナ禍の長期化により多くの会議、行事等が中止され人々が集う機会を失っています。

議会でも計画していた公聴会をやむをえず中止しており、町民の皆様の声を聴く機会が減り残念に思っています。

「新型コロナウイルスの一日も早い収束を願っています。」

鈴木 重行

発行責任者 議会議長 佐藤 栄市
編集 広報常任委員会

委員長 鈴木 淳士
副委員長 志田 徳久
委員 鈴木 重行

委員 佐久間 千佳
委員 砂田 茂
委員 小野寺 正樹